

トーカー×エロティカ (2001)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스 エロティック

製作国 日本

色彩 Color

時間 77分

初公開日 2002/06/15

公開情報 新東宝＝国映

映倫 R-18

【キャッチコピー】

生まれる前の時間と死んだ時間って、
どっちが長いと思う？

【解説】

ピンク映画の大御所で近年「RUSH!」「DOG STAR／ドッグ☆スター」など一般映画も精力的にこなす瀬々敬久監督が、人間の生と死を独自の視点で捉えた問題作。重層的な時制の中で地下鉄サリン事件や東電OL殺人事件を想起させる不条理な死を次々と描き出すことでより生への執着を浮き彫りにしていく。

1995年、ケンヂは街に散布された毒ガスの被害に遭い突然この世を去った。1997年、その恋人ハルカは、今では街で身体を売るようになっていた。そんなハルカはある日、死神を名乗るサンドイッチマンの男にラブホテルで惨殺される。1995年、妻のいるトシロウはOLの真知子と不倫していた。二人はSMプレイに溺れていた。1989年、バンド仲間のハギオとミチ、シンイチとアユミのカップルは、友人の葬儀の夜、互いの恋人に秘密で乱れた性関係に耽った。そして、2002年、死んだケンヂとハルカは再び出会い、新しい物語が始まる……。

【クレジット】

監督	瀬々敬久
企画	朝倉大介
プロデューサー	衣川仲人 森田一人 増子恭一
脚本	瀬々敬久
撮影	斉藤幸一
編集	酒井正次
音楽	安川午朗
録音	中島秀一
監督助手	大西裕
助監督	坂本礼
出演	佐々木ユメカ ハルカ 佐々木麻由子 小谷真知子 えり アユミ 奈賀毬子 ミチ 石川裕一 ケンヂ 下元史朗 サンドイッチマンの男

伊藤猛	来生トシロウ
佐藤幹雄	ハギオ
川瀬陽太	シンイチ
佐野和宏	ウサギ